

疾病の成り立ちと回復の促進

専門基礎分野

授業科目	体の調節と神経の病を見る	講師	氏名	①福田康則 ②富田健一 ③木下良正 ④安部信一	開講年次	単位・時間	
			所属	①②③病院 ④専任教員			
			実務経験	②③医師 ①④臨床看護師	1年次 前～後期	1単位 30時間	
科目のねらい	内分泌・代謝、脳神経系の代表的な疾患を中心にその病因、病態生理、特徴的な検査、治療などを学習し、臨床看護に必要なアセスメントの基礎能力を身につける。						
到達目標							
知識・技術	1. 内分泌・代謝の構造とその機能や、機能障害がおこる機序について説明できる。 2. 脳神経の構造とその機能や、機能障害がおこる機序について説明できる。						
思考判断・表現	1. 各疾患の病態生理についてテキストを活用し、調べることができる。 2. 疾患から起こりうる合併症や予後を考察し、発言できる。 3. 各器官についての知識を活用し、マインドマップを作成することができる。						
主体的学習態度	1. 講義において積極的に質問し、理解しようと努力する行動がみられる。 2. 主体的に予習・復習を行うことができる。						
科目評価	定期試験（筆記）80% 課題20% 合計100%						
テキスト	ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護⑦ 疾病と治療（メディカ出版）						
参考文献	ナーシング・グラフィカ 疾病と看護③ ナーシング・グラフィカ 疾患と看護⑧ 消化器（メディカ出版） ナーシング・グラフィカ 腎/泌尿器/内分泌代謝（メディカ出版） ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護⑥ 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害（メディカ出版）						
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項
		講義	演習	その他			
1	内分泌・代謝 症状と病態生理 ホルモン分泌異常に伴う症状	○			福田康則	からだの構造 からだの機能 日常生活から見るからだ 病理学総論 治療学総論 臨床薬理学	人体の構造と機能について、復習して講義に臨むこと。 講義終了後はテキスト・配布資料で復習する。 マインドマップ作成
2	疾患の診断と治療（内分泌）	○					
3	下垂体疾患・甲状腺疾患・上皮小体（副甲状腺）・副腎疾患	○					
4		○					
5	疾患の診断と治療（代謝） 1) 糖尿病 2) 高尿酸血症 3) 高脂血症	○			富田健一		
6	体の調整を看るとは？	○	○		安部信一		
7	脳神経系症状とその病態生理 1) 頭蓋内圧亢進 2) 脳ヘルニア	○			木下良正		
8	脳血管障害 1) 脳梗塞 2) 脳出血	○					
9	3) もやもや病 4) 脳動静脈奇形	○					
10	頭部外傷	○					
11	脳腫瘍	○					
12	脳炎・髄膜炎・感染症 クロイツフェルト・ヤコブ病	○					
13	変性疾患 1) パーキンソン病 2) 筋萎縮性側索硬化症	○					
14	認知症 1) アルツハイマー病 2) 血管性認知症 3) レビー小体型認知症	○					
15	脳神経を看るとは？	○	○				安部信一